学校番号	３０１３

令和８年度　工業科（建築設備系）

教科	工業科	科目	建築システム製図	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	建築設計製図（実教出版）						
副教材等	資料プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2 年で学んだ製図の知識をもとに、線の意味や線種の意味、部材の名称、寸法、接合状態などについて常に意識し、単に書くだけの製図にならないことが重要です。

特に部材寸法については、他図面との関係を理解し、様々な図面から目的の部材の寸法を把握するように努めること。

また、時間内での製図の完成は今後実務についたときに大切となります。常に期限を意識して自分のペースや仕上がり具合などを考えながら時には自主的に居残りをするなど自主管理能力を身につけるようしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・建築分野に関する製図について、日本産業規格および国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
・各種設計図に関する課題を発見し、建築に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
・建築分野における各種図面の作成および図面から施工情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築設計に関する製図について日本産業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	建築設計に関する課題を発見し，建築に携わる者として科学的な根拠に基づき建築技術の進展に対応し解決する力を養う。	建築設計における図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	鉄筋コンクリート造	・平面,断面,立面図 ・平面詳細図 ・断面詳細図(矩計図)	a: 鉄筋コンクリート造に関する製図について日本産業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付ける。 b: 鉄筋コンクリート造に関する課題を発見し，建築に携わる者として科学的な根拠に基づき建築技術の進展に対応し解決する力を養う。 c: 鉄筋コンクリート造における図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	質問・観察 作品提出	作品提出	質問・観察 作品提出 振返りシート
二学期	鉄筋コンクリート造	・各伏図 ・階段詳細図 ・断面リスト,軸組図 ・ラーメン配筋図		質問・観察 作品提出	作品提出	質問・観察 作品提出 振返りシート
三学期	鋼構造	・平面・立面・断面図、断面リスト ・自由課題	a: 鋼構造に関する製図について日本産業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付ける。 b: 鋼構造に関する課題を発見し，建築に携わる者として科学的な根拠に基づき建築技術の進展に対応し解決する力を養う。 c:鋼構造における図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	質問・観察 作品提出	作品提出	質問・観察 作品提出 振返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度